

議 事 概 要

1. 日 時 令和6年3月8日(金) 14時00分～15時50分
2. 場 所 TKP 札幌ビジネスセンター 赤レンガ前 ホール5H
 (札幌市中央区北4条西6丁目1)
3. 出席者
 [座 長]
 五十嵐 敏文 旭川工業高等専門学校 校長
 [委 員]
 伊東 佳彦 北電総合設計株式会社 土木部 部長
 有馬 孝彦 北海道大学 工学研究院 助教

 [オブザーバー]
 佐々木 博一 北海道開発局 建設部 道路建設課 課長補佐
 山崎 秀策 土木研究所 寒地土木研究所 主任研究員
4. 議 事
 (1)規約の改正について
 (2)事業区間における土壌の特性と掘削土の取扱について
 (3)事業区間および周辺の地下水・河川水の特性について
 (4)掘削土の評価及び地下水・河川水の調査結果と今後の検討事項について

【委員からの主な意見】

- ・規約の改正については、事務局改正案で了承する。
- ・六価クロムの土壌溶出量基準について、現在は資料記載の通り 0.05mg/L であるが、地下水環境基準は 0.02mg/L に改正されており、土壌溶出量基準も同値に改正されることが予想されることから、今後の検討において留意されたい。
- ・要管理土のうち不良土に該当する土層は、改質に伴い砒素溶出量は地下水環境基準適合となるが、改質土の pH はアルカリ性へ変化することから、発生土を利用する際には周辺水質モニタリングについて検討されたい。

- ・掘削土の評価にあたっては、土層の性状を踏まえ施工が煩雑とならないよう留意されたい。
- ・要管理土に区分される発生土の搬出先では、バックグラウンド調査が必要となることに留意されたい。

【座長による総括】

- ・委員から質疑いただいた意見を整理いただけることを前提に、事務局から説明のあった掘削土の評価、及び地下水・河川水の調査結果の内容について、妥当であると認める。